

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

建設整備事業

事務事業の段階

計画 事業化 事業 管理

政策名	3 夢のふくらむ港		24年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)			責任者	港営部 港営課長
基本施策名	04 うるおいと魅力のある港湾空間の形成		事務事業	成果	コスト	連絡先 052-654-7871 連携課	事業 期間 昭和43年度～継続
個別施策名	12 快適な港湾空間を形成する		継続	維持	維持		
事務事業名	04 港湾福利厚生施設の管理		継続	維持	維持	根拠 法令等	港湾法、港湾労働法
目的	港湾福利厚生施設を管理し、港湾労働者、船舶乗組員の快適な労働環境の形成を図ります。		事業 期間		昭和43年度～継続		
概要	港湾福利厚生施設となる港湾労働者福祉センター、岸壁休憩所は本組合が所有していますが、運営は(公財)名古屋港湾福利厚生協会に委託しています。運営方法、施設の修繕、必要棟数等については、同協会及び関係者と調整し、快適な港湾労働環境の形成を図ります。		根拠 法令等		港湾法、港湾労働法		
平成25年度の実施予定	引き続き、施設の修繕などを行い、快適な港湾労働環境の形成を図ります。		実施 義務		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
			関連 シート				

2 DO(実施)

平成25年度に実施した内容・結果	本組合の修繕実績はなく、(公財)名古屋港湾福利厚生協会の維持管理の範囲内で対応しました。							
コスト(年度)	単位	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績)	25(実績)	合計	備考(款項目節等)
事業費計	千円	1,000	2,926	60	93	0	4,079	(款項目節) 歳出:建設費/整備費/施設補修費/単独事業費
一般会計	千円	1,000	2,926	60	93	0	4,079	歳出:港湾費/運営費/施設運営費/港湾施設運営費
事業会計	千円							
その他	千円							
人員費計	千円	2,575	2,544	2,586	2,615	2,628	12,948	(算出計算式)
正規職員	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30		(その他)
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
合計	千円	3,575	5,470	2,646	2,708	2,628	17,027	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	21	22	23	24	25	中間目標	25	備考(指標の算定方法など)
港湾福利厚生施設数(棟)	目標	18	18	18	18	18		18	目標18棟＝現状値16棟＋鍋田地区福利厚生施設＋西部地区又は金城ふ頭岸壁休憩所
	実績	16	16	16	16	16			
	達成率(単年度%)	88.9	88.9	88.9	88.9	88.9			
港湾福利厚生施設の利用者数(万人)	目標	140	140	140	140	140		140	港湾福利厚生施設の利用者数の推移を把握することで、必要な棟数や配置を検証します。
	実績	99	104	100	92	90			
	達成率(単年度%)	70.7	74.3	71.4	65.7	64.3			
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-			
25年度までを総括した必要性・有効性・効率性の確認		判断理由(課題の抽出)						その他特記事項	
必要性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>		・港湾法で定められた港湾管理者の業務です。 ・現政策体系の5年間に於いて、港湾労働者に利用されているとともに、岸壁休憩所設置等の要望があり、利用者ニーズは高いものでありました。					
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
	本組合が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
有効性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>		・現政策体系の5年間に於いて、施設数を増やすことはできませんでしたが、現有施設を修繕しながら、適正に管理を行い、快適な港湾労働環境の形成を図ることができました。					
	目標を達成したか?	<input type="checkbox"/> ○ <input checked="" type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
効率性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>		・現政策体系の5年間に於いて、施設の老朽化に伴い、修繕費等のコストがかかっていますが、港湾労働者の福利厚生事業を推進する(公財)名古屋港湾福利厚生協会が管理運営することで、効率的な運用を図っています。					
	受益者に適正に負担させているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続	➡	➡	港湾管理者の責務として、港湾労働者の労働環境を良好に確保する必要があるため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組み				

(公財)名古屋港湾福利厚生協会と調整を図りながら、利用者のニーズに応じた施設の運営、定期的な施設の保守・点検、修繕などを行い、引き続き効率的な施設の運営に努めます。